

令和 8 年度 第 45 回

沖縄県トラックドライバー・コンテスト

学科競技問題用紙

(制限時間：60 分)

注意事項

- ① 問題は全 80 問で正誤式問題（○×方式）です。
- ② 解答はすべて別紙の解答用紙に記載すること。
- ③ 解答用紙に受験する部門をマークし、事業所名及び氏名、ふりがなを記入すること。
- ④ この問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- ⑤ 印刷の不鮮明なところや筆記用具等の件で質問があれば、静かに手を挙げて係員に聞くこと。ただし、問題の内容にふれるものは回答しない。
- ⑥ 問題用紙に、メモ、計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま待ち帰ること。
- ⑦ 早くできた者は、30 分経過後退室することができる。その際、解答用紙は机上に伏せ、他の者の邪魔にならないよう静かに退室すること。トイレや廊下等での雑談は遠慮されたい。また、一度退室したら再度入室は認めない。
- ⑧ **制限時間は 60 分。** 終了の予告については試験官が合図をする。

公益社団法人沖縄県トラック協会

筆記試験

次の設問について、解答用紙の各欄に、正しいと思うものには「○」を、誤りと思うものには、「×」を記入して下さい。

I 交通法規 (40問)

- 問1. 乗車定員が3人、最大積載量が1,250キログラム、及び車両総重量3,515キログラムの貨物自動車の種類は、普通自動車である。
- 問2. 免許（仮免許を除く。）を受けた者が、アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者であることが判明したときは、その者の住所地を管轄する公安委員会は、その者の免許を取り消し、又は六月を超えない範囲内で期間を定めて免許の効力を停止することができる。
- 問3. 車両等は、その直前の車両等が急に停止したときでも、追突するのを避けることができるために必要な距離を保たなければならない。
- 問4. 徐行とは、車両等が直ちに停止することができるような速度で進行することをいう。
- 問5. 追越しをする場合であっても、制限速度を超えてはならない。
- 問6. 飲酒をしても10時間以上経過していれば、運転して差し支えない。
- 問7. 過労、病気、薬物の影響等により、正常な運転ができないおそれがある状態では車両等を運転してはならない。
- 問8. 警笛区間の標識のある区間内であれば、どこで警音器を使用してもよい。
- 問9. 危険を防止するためやむを得ない場合を除いて、急停止や急減速となるような急ブレーキをかけてはならない。
- 問10. 運転者は、同乗者が不用意にドアを開かないように注意する必要がある。

- 問11. 車両通行帯のあるトンネル内では、駐停車することができる。
- 問12. 大型免許、中型免許、準中型免許に係る適性試験での視力の合格基準は、両眼で0.8以上、かつ、一眼でそれぞれ0.4以上である。
- 問13. 正当な理由がないのに、著しく他人に迷惑を及ぼすこととなる騒音を生じさせるような方法で、急発進や急加速をしない。
- 問14. 車両総重量8,000キログラムの自動車は、道路交通法では大型自動車に分類される。
- 問15. 交差点の側端から10メートル以内の部分は駐停車禁止である。
- 問16. 貨物の積卸しのため停車するときは、できる限り道路の左側端に沿い、かつ、他の交通の妨害とならないようにしなければならない。
- 問17. 路線バスが発進するため進路を変更しようとして合図をした場合は、その後方にある車両は、速やかに路線バスを追い越していく。
- 問18. 道路外に出るため左折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、徐行する。
- 問19. 有効期限の過ぎた運転免許証で運転した場合は、免許条件違反となる。
- 問20. 道路交通法でいう「車両」とは、自動車、トロリーバス、原動機付自転車をいい、軽車両は含まれない。
- 問21. 高速自動車国道の本線車道に入ろうとする場合、加速車線が設けられているときは、その加速車線を通行しなければならない。
- 問22. 進路を変えて、停止している車両の側方を通過し、当該停止車両の前方に出る行為は、追越しには該当しない。
- 問23. 自動車を後退させるときでも座席ベルトを着用しなければならない。
- 問24. 左折可の標示板があるときは、対面する信号が黄色や赤色の場合でも左折することができる。

- 問25. 道路のまがりかど付近では、徐行しなければならない。
- 問26. 駐車場等の道路外施設に入るために歩道を横断するときは、歩道に入る直前で一時停止し、かつ、歩行者の通行を妨げないようにする。
- 問27. 環状交差点に入ろうとするときは、徐行しなければならない。
- 問28. 時間が指定されている路線バスの優先通行帯は、指定された時間内に限り、路線バス以外の車両（軽車両を除く）は一切通行できない。
- 問29. 70歳以上の高齢運転者が免許証の更新を受けようとするときは、公安委員会が行う高齢者講習を受けていなければならない。
- 問30. 右左折しようとするときは、その行為をしようとする時の3秒前のときに合図しなければならない。
- 問31. 交通事故が発生した場合、運転者には負傷者を救護する等の必要な措置を講じる義務があるが、運転者以外の乗務員にはそのような義務はない。
- 問32. 上り坂の頂上付近では、必ずしも徐行する必要はない。
- 問33. 交差する道路が優先道路であるときやその幅が広いときは、必ず一時停止して交差道路を通行する車などの進行を妨げてはならない。
- 問34. 赤色の点滅信号の交差点に進入する場合は、徐行すれば良い。
- 問35. 警報機のある踏切を通過するとき、警報機が鳴っていないときは、一時停止の必要はない。
- 問36. この標識のある道路から交差点を右折する原動機付自転車は、あらかじめできるだけ道路の中央に寄り、交差点の中心のすぐ内側を徐行する。（一方通行路を除く。）



問37. この標識のある道路は、車両区分を問わず、貨物自動車は通行できない。



問38. この標識は、一方通行路であることを示している。



問39. この標識のある道路は、車両総重量が5.5トンを超える車は通行できない。



問40. この標識は、車線数が減少することを示している。



II 構造機能 (20問)

- 問41. 車線逸脱警報装置とは、自動車が行中車線から逸脱しようとしている、又は逸脱している旨を運転者に警報することにより自動車の車線からの逸脱を防止する装置をいう。
- 問42. 自動車は、乗車定員又は最大積載量について、国土交通省令で定める保安上又は公害防止その他の環境保全上の技術基準に適合するものでなければ、運行の用に供してはならない。
- 問43. 有効な自動車検査証の交付を受けている自動車について、自動車又はその部分の改造、装置の取り付け又は取り外しその他これらに類する行為であって、当該自動車が保安基準に適合しないこととなるものを行ってはならない。
- 問44. 自動車（二輪自動車及び側車付二輪自動車を除く）のタイヤの残り溝は、1.6ミリメートルが限度である。
- 問45. 自動車には、定期点検記録簿の写しを備え置かなければならない。
- 問46. 方向指示器は、毎分60回以上120回以下の一定の周期で点滅するものであること。
- 問47. 前回の運行で異状が認められなかった箇所については、次回の運行前の日常点検で省略することができる。
- 問48. 警音器の警報音発生装置の音は、自動的に断続するものでなければならない。
- 問49. 自動車（タンク自動車を除く）の車体の後面には、最大積載量並びに車両総重量を表示しなければならない。
- 問50. 日常点検の結果は運行管理者に報告し、運行管理者はその結果に基づいて運行の可否を決定する。
- 問51. 自動車の長さ、幅、高さの測定は、空車状態で行う。
- 問52. 長さ6メートルを超える普通自動車の両側面には、側方灯又は側方反射器を備えなければならない。

- 問53. セミトレーラ以外の自動車の寸法は、告示で定める方法により測定した場合において、長さ12メートル、幅2.2メートル、高さ3.8メートルを超えてはならない。
- 問54. 自動車運送事業の用に供する自動車等の3月ごとに定期点検を実施する自動車の点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から1年間である。
- 問55. 日常点検における冷却水の量については、当該自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りる。
- 問56. 自動車（被けん引自動車を除く）の前面ガラス及び側面ガラスは、交通状況を確認するために必要な視野の範囲に係る部分の可視光線の透過率が70%以上のものでなければならない。
- 問57. 車両総重量8トン未満の貨物の運送の用に供する自動車が、初めて自動車検査証の交付を受けた場合の有効期間は2年である。
- 問58. タイヤ交換をしたときは、初期なじみのため、タイヤ交換後50～100キロメートルを目安にナットの増し締めを実施するとよい。
- 問59. 車両総重量8トン以上の自動車は、12月ごとの定期点検において、スペアタイヤの点検を行わなければならない。
- 問60. 番号灯は、夜間後方20メートルの距離から自動車登録番号標、臨時運行許可番号標、回送運行許可番号標又は車両番号標の数字等の表示を確認できるものでなければならない。

Ⅲ 運転常識 (20問)

- 問61. 運行管理者は、乗務員等が有効に利用することができるように、休憩に必要な施設を整備し、及び乗務員等に睡眠を与える必要がある場合にあっては睡眠に必要な施設を整備し、並びにこれらの施設を適切に管理し、及び保守すること。
- 問62. 飲酒運転をした場合、運転者本人だけではなく、事業者等も刑事及び行政処分を受けられることがある。
- 問63. 雨の降り始めの舗装道路はスリッパしやすい。
- 問64. トンネルや切り通しの出口などでは、横風のためにハンドルを取られることがある。
- 問65. むやみにブレーキを使わず、なるべくアクセルの操作で徐々に速度を落としてから止まるようにする。
- 問66. 事業用自動車に貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載すること。
- 問67. 上り坂で前の車に続いて停車するときは、あまり接近し過ぎないようにする。
- 問68. 休息期間を分割する場合は、1日において1回あたり継続4時間以上、合計が8時間以上でなければならない。
- 問69. 改善基準告示でいう「拘束時間」とは、労働時間、休憩時間その他の使用者に拘束されている時間をいう。
- 問70. 事業者は、労働者に対し、健康診断を行わなければならないが、健康診断を受けるかどうかは労働者の自由である。
- 問71. 霧のときは、霧灯装備されているときは霧灯を、霧灯がないときは非常点滅表示灯を早めにつける。
- 問72. カーブを曲がるときは、ハンドルを切りながらブレーキを掛けたりアクセルを踏んで速度を調節するのがよい。

- 問73. 夜間は、速度感が鈍り、速度が低下しやすい。
- 問74. 運転者が疲れているときは、危険を認知して判断するまでに時間がかかるので、空走距離は長くなる。
- 問75. 乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について通告すること。
- 問76. 大型自動車、中型自動車及び準中型自動車は、普通自動車に比べ、運転席の位置が高く、見下ろす形になり、車間距離が実際より短く感じやすい。
- 問77. 「一の運行」とは、運転者が所属する営業所を出発してから当該営業所に帰着するまでをいい、140時間を超えてはならない。
- 問78. 60歳以上の初任運転者については、国土交通大臣が認定する機関による適齢診断を受診しなければならない。
- 問79. 踏切内では、変速せずに発進した時の低速ギアのまま、歩行者や対向車に注意しながら、落輪しないようにやや中央寄りを一気に通過する。
- 問80. 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（改善基準）に定める連続運転時間に関し、下記の運行時間は違反している。※4時間を超える例外は考慮しない。

運転 開始	運転時間 2時間	休憩時間 25分	運転時間 2時間	休憩時間 5分	運転時間 1時間
----------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------